

仕 様 書

内外半導電層押出型
6600V架橋ポリエチレン絶縁
ビニルシースケーブル
[記号：6600V CV (EE)]

(改訂日：2025年 6月16日)

住 電 H S T ケーブル株式会社

1. 適用範囲

本仕様書は、電気設備技術基準に基づく題記電力用ケーブルに適用する。

関連規格 : JIS C 3606適合

2. 品名略号

6600V CV (EE) ○ × □ SQ
(線心数) (サイズ)

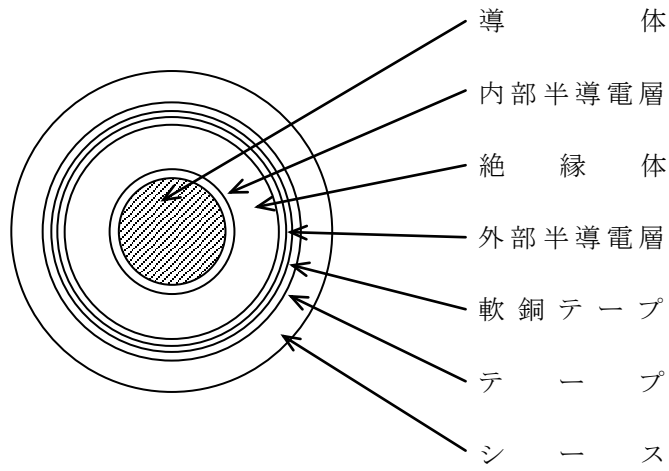
3. 構造及び材質

構造及び材質は次のとおりである。

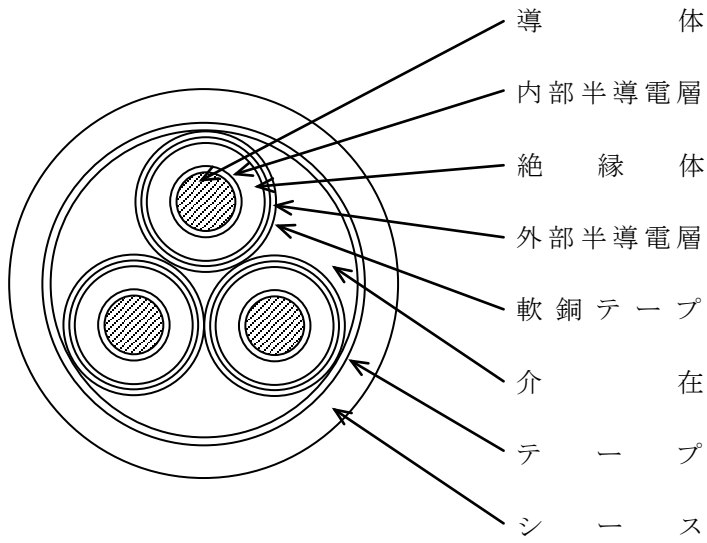
- 3.1 導 体 : 電気用軟銅線の円形圧縮より線又は分割圧縮より線。
最外層Sより。
分割圧縮より線は、圧縮成形したセグメント間に適切な絶縁を施し、Sよりにより合せて、バインダーにより一括する。
- 3.2 絶 縁 体 : 架橋ポリエチレン
導体部に接する部分には半導電層を施す。なお、半導電層の厚さは絶縁体の厚さに含めるものとする。
平均厚 : 構造表の値の 90 % 以上
最小厚 : 構造表の値の 80 % 以上
外径許容差 : ±0.7 mm (600 mm² 以下)
±1.0 mm (800 mm² 以上)
- 3.3 外部半導電層 : 絶縁体上に押出式による半導電層 (フリーストリッピング型) を施す。
- 3.4 線心識別 : 外部半導電層上に施す着色テープの色による。
単心 : なし
3心 : 白、赤、青
- 3.5 遮 へ い : 厚さ約0.1mmの軟銅テープ1枚を、3.3 の線心の上に施す。
- 3.6 より合わせ (3心のみ) : 所要線心数を適切な介在とともにSよりにより合わせ、その上に押えテープを施す。
- 3.7 シ ー ス : ビ ニ ル
平均厚 : 構造表の値の 90 % 以上
最小厚 : 構造表の値の 85 % 以上
色 : 黒
- 3.8 表 示 : ケーブルの適切な箇所に、下記事項を連続表示する。
(1) 記号 (6600V CV (EE))
(2) ブランド名 (H S & T C a b l e)
(3) 製造業者名又はその略号
(4) 製造年 (西暦年号) 又はその略号

3.9 ケーブル断面図

(1) 単心



(2) 3心



4. 特性及び試験方法

項 目		特 性		試 験 方 法
導 体 抵 抗		付表の値以下		JIS C 3005による
耐 電 圧		付表の電圧に10分間耐えること		JIS C 3005による
絶 縁 抵 抗		付表の値以上		JIS C 3005による
引 張	絶 縁 体	引張強さ	10 MPa 以上	JIS C 3005による
		伸 び	200% 以上	
	シ ー ス	引張強さ	10 MPa 以上	
		伸 び	120% 以上	
加 熱	絶 縁 体	引張強さ	加熱前の値の 80 % 以上	JIS C 3005による (120°C±3°C×96時間)
		伸 び		
	シ ー ス	引張強さ	加熱前の値の 85 % 以上	JIS C 3005による (100°C±2°C×48時間)
		伸 び	加熱前の値の 80 % 以上	
耐 油	シ ー ス	引張強さ	浸油前の値の 80 % 以上	JIS C 3005による (70°C±2°C×4時間)
		伸 び	浸油前の値の 60 % 以上	
加 熱 変 形		絶 縁 体	厚さの減少率 40 % 以下	JIS C 3005による
		シ ー ス	厚さの減少率 50 % 以下	
耐 寒		シ ー ス	試験片が破壊しないこと	JIS C 3005による (-15°C)
難 燃		60秒以内で自然に消えること		JIS C 3005による (60度傾斜試験)

5. 受 渡 試 験 項 目

完成品は下記試験を行う。

- (1) 構造試験
- (2) 導体抵抗試験
- (3) 絶縁抵抗試験
- (4) 耐電圧試験

6. そ の 他

ケーブルグランド又はパッキン等の御使用の都合により、特定のケーブル外径公差を必要とされる場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

取り扱い時の注意

1. 端末接続作業について

絶縁体上には押出式による外部半導電層を施してありますので、端末及び接続作業時の除去に際しては、絶縁体に傷をつけないように注意願います。

2. ケーブル内への水の浸入防止

ケーブル内に水が浸入した場合、絶縁性能が低下し寿命を短縮させる可能性があります。従ってケーブル布設中および保管中の端末防水処理、延線中の外傷防止、あるいは両端末や直線接続処理時の防水などに十分配慮願います。

3. 遮へい銅テープへの接地方式

遮へい銅テープの接地方式については種々の手段を講ずる必要がありますので、問い合わせ下さい。

(注1) 片端接地とする場合は非接地側端に誘起する電圧を50V以下になるよう設計するのが一般的です。

(注2) 接地用リード線がはずれるなどして、遮へい銅テープがアースから浮いた場合、ケーブル事故に至る可能性があります。従ってリード線はしっかりと取り付けて下さい。

構造表 6600V CV (EE) (単心)

公称 断面積	導 体		絶縁体 厚 さ	絶縁体 外 径	シース 厚 さ	仕上り 外 径	导体抵抗 (20℃)	試験電圧	絶縁抵抗	静電容量 (参考)	概算質量
	構成	外 径 (参考)									
mm ²	形状	mm	mm	mm	mm	mm	Ω/km	kV/10分	MΩ・km	μF/km	kg/km
22	円形圧縮	5.5	4.0	13.5	1.9	19.5	0.832	17	2 500	0.27	530
38	円形圧縮	7.3	4.0	15.3	2.0	22	0.481	17	2 000	0.32	710
60	円形圧縮	9.3	4.0	17.3	2.0	24	0.305	17	2 000	0.37	960
100	円形圧縮	12.0	4.0	20.0	2.1	26	0.183	17	1 500	0.45	1 400
150	円形圧縮	14.7	4.0	22.7	2.3	30	0.122	17	1 500	0.52	1 950
200	円形圧縮	17.0	4.5	26.0	2.4	33	0.0915	17	1 500	0.51	2 500
250	円形圧縮	19.0	4.5	28.0	2.5	35	0.0739	17	1 500	0.55	2 950
325	円形圧縮	21.7	4.5	30.7	2.6	38	0.0568	17	1 500	0.61	3 700
400	円形圧縮	24.1	4.5	33.1	2.7	41	0.0462	17	1 000	0.68	4 450
500	円形圧縮	26.9	4.5	35.9	2.8	44	0.0369	17	900	0.74	5 450
600	円形圧縮	29.5	5.0	39.5	2.9	48	0.0308	17	900	0.71	6 500
800	分割圧縮	34.0	5.0	44.0	3.1	52	0.0231	17	800	0.81	8 500
1000	分割圧縮	38.0	5.0	48.0	3.3	57	0.0187	17	800	0.85	10 500

構 造 表 6 6 0 0 V C V (E E) (3 心)

導 体			絶縁体	絶縁体	シース	仕上り	导体抵抗	試験電圧	絶縁抵抗	静電容量	概算質量
公称	構成	外径	厚さ	外径	厚さ	外径	(20℃)			(参考)	
断面積	形状	(参考)				(参考)					
mm ²		mm	mm	mm	mm	mm	Ω/km	kV/10分	MΩ·km	μF/km	kg/km
22	円形圧縮	5.5	4.0	13.5	2.5	39	0.849	17	2 500	0.27	1 700
38	円形圧縮	7.3	4.0	15.3	2.7	43	0.491	17	2 000	0.32	2 350
60	円形圧縮	9.3	4.0	17.3	2.9	48	0.311	17	2 000	0.37	3 200
100	円形圧縮	12.0	4.0	20.0	3.1	54	0.187	17	1 500	0.45	4 550
150	円形圧縮	14.7	4.0	22.7	3.3	60	0.124	17	1 500	0.52	6 250
200	円形圧縮	17.0	4.5	26.0	3.6	68	0.0933	17	1 500	0.51	8 050
250	円形圧縮	19.0	4.5	28.0	3.8	73	0.0754	17	1 500	0.55	9 650
325	円形圧縮	21.7	4.5	30.7	4.0	79	0.0579	17	1 500	0.61	12 500